
2 市町村の取組事例

(3) 在宅医療・介護連携の推進

白河市・西白河郡

白河地域在宅医療拠点センターの取り組み

白河市・西白河郡の概要

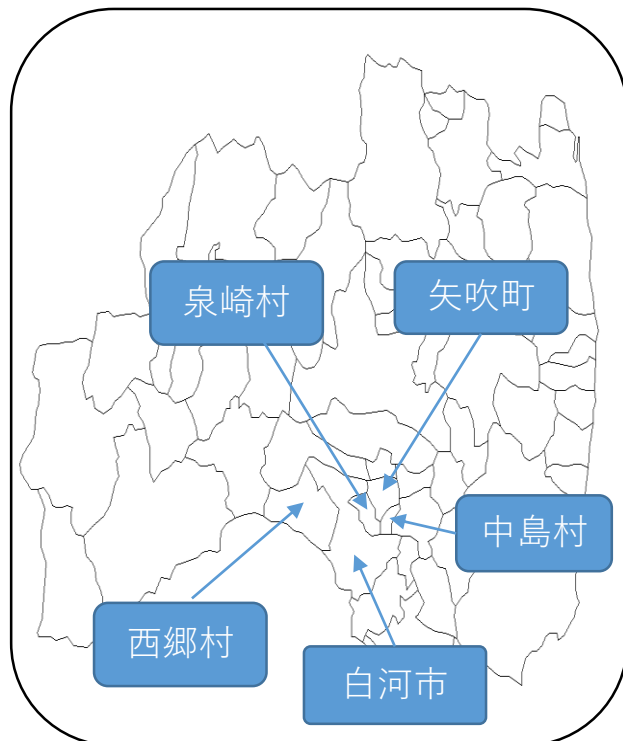
白河地方は古来より奥州の玄関口として栄えてきた。

近年では2005年に行われた白河市、表郷村、大信村、東村の合併により現在の白河市、西白河郡(西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町)の体制となった。

【基本情報】

(令和4年11月1日現在。)

	白河市	西郷村	泉崎村	中島村	矢吹町
人口	58,858人	20,316人	6,224人	4,866人	16,974人
高齢者人口	18,051人	5,193人	2,073人	1,494人	5,326人
高齢化率	30.7%	25.6%	33.3%	30.7%	31.4%
要介護認定率	17.8%	14.8%	17.2%	14.4%	15.1%
第1号保険料月額	5,900円	5,700円	5,466円	4,925円	5,492円



取組の内容①

●背景

白河市と西郷村・泉崎村・中島村・矢吹町の西白河郡4町村が協力して「在宅医療・介護連携推進事業」に取り組むこととなり、白河医師会に委託し、平成28年4月に「白河地域在宅医療拠点センター」をオープン！

●財源

介護保険特別会計

●主な事業内容

(1) 相談業務

地域の在宅医療と介護の連携を支援する相談窓口の運営を行い、地域の住民や医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの、在宅医療・介護に関する事項の相談の受付、助言を行う。

(2) 医療・介護関係者の連携

地域の医療・介護関係者の連携を図るため、多職種でグループワークを行うなど研修会を開催。

取組の内容②

(3) 普及・啓発

多職種の講師による出前講座を町内会や高齢者サロン等で実施。

また、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の普及・啓発にも力を入れている。

・『ACP』とは、

今後の治療・療養について、患者・家族と医療・ケアチームがあらかじめ話し合う自発的なプロセスのこと。最近は『人生会議』の愛称でも呼ばれる。

・ACPに係る活動

白河地域の特養・老健の介護職員に対してACPに関する研修会を行う。

また、ACPの普及啓発に向けた出前講座(もしバナゲーム、エンディングノートの書き方)や市民講演会を11月30日(人生会議の日)におこなった。



ACPの出前講座の様子



市民講演会の様子

成果と課題

取組の成果

- 研修会を通じて、多職種連携や、スキルの向上を図ることができた。
- 市民講演会や出前講座等を通じて事業の普及・啓発活動を行うことができた。

今後の展望

- 市民講演会、出前講座を通じて引き続き地域住民等に対して普及・啓発活動を行うと共に、センターの更なる周知にも努める。
- 各市町村の特徴や課題を明確にし、それに応じた取組みができるよう検討していく。
- 上記を初めとした様々な取り組みを行い、在宅での医療や介護、終末期を支えられる地域づくりの更なる強化を図る。

